

平成16年度 和歌山県文化奨励賞

かた ぎり ひと み 片 桐 仁 美

住 所：大阪府大阪市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和33年

◎業績及び経歴

昭和55年に大阪音楽大学を卒業後、渡欧しウィーン国立音楽大学に進学する。在学中にバイロイト音楽祭合唱団のオーディションに合格し、コーラスメンバーとして活躍する。

昭和60年に同大学リート・オラトリオ科及び声楽科を最優秀で卒業し、オーストリア政府より表彰される。また、同年よりウィーン国立歌劇場の研究生となり、ソリストとしてヨーロッパデビューを果たす。

昭和63年にはバイロイト音楽祭のソリストに抜擢され、日本人としては3人目のソリストとなる。

同音楽祭でのレヴァイン、シノポリ、バレンボイムとの共演がきっかけとなり、その後メトロポリタン歌劇場、シカゴ交響楽団、ウィーンフィルハーモニー、サンタ・チェチリアオーケストラ、ハンブルグ交響楽団、ロンドンフィルハーモニー、ジュネーブ大劇場、ブリュッセルモネ劇場、国立ハンブルグ歌劇場、ベルリン・ドイツオペラなど、世界のメジャーな舞台で活躍する。

平成9年に帰国。活動の拠点を日本に移し、大阪音楽大学講師として後進の指導にあたり、NHK年末恒例のベートーヴェン「第九」、新国立劇場などオペラやコンサートに数多く出演し、活躍中である。

また県内でも、南紀熊野体験博記念公演オペラ「清姫」出演、和歌山市内においてリサイタル開催、和歌山第九合唱団のベートーヴェン第九交響曲演奏会でソリスト(アルト)を務めるなど、本県の文化振興にも寄与されている。

■現在

大阪音楽大学声楽学部講師

堺シティオペラ理事

関西二期会理事

和歌山コンクール審査員

■主な表彰歴

昭和55年 日伊コンコルソ金賞

昭和60年 大学最優秀卒業賞
(オーストリア政府)